

X-point

X-point

FUJIFILM IWpro 連携ガイド

2026/06/04版



はじめに

◆ 本書の目的

本書は、X-point と FUJIFILM IWpro とを連携利用する為に必要なシステムの設定について説明しています。

本書をよくお読み頂いた上で本サービスの利用を行ってください。

◆ 対象とする読者

本書は「X-point」のシステム管理者を対象としています。システム管理者とは「X-point」を運用するにあたり必要な設定および基本データの作成、維持管理を行なう本システムの管理権限を持つユーザを指します。

◆ 対応バージョン (2026/06/04 時点)

ワークフローシステム	備考
X-point v3.11 以降	
FUJIFILM IWpro	

◆ 製品名について

本文中、「X-point Cloud」は「X-point」と表記しています。

また、各製品の名称は対応バージョンを省略してある箇所もありますのでご了承ください。

◆ 商標について

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的の為に複製、配布することはできません。X-point、エクスポイントの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標または登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Macintosh、MacOS は Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems,Inc.の商標または登録商標です。

ORACLE、Java、JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

デスクネット、desknet's は株式会社ネオジャパンの登録商標です。サイボウズ、Cybozu はサイボウズ株式会社の登録商標です。

Google、Google ロゴ、Google Apps は、Google Inc.の登録商標または商標です。

FUJIFILM、FUJIFILM ロゴ、および FUJIFILM IWpro は、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

本書では、©、□、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

製作著作

©2026 株式会社エイトレッド

目次／索引

- はじめに
 - ◆ 本書の目的
 - ◆ 対象とする読者
 - ◆ 対応バージョン (2026/06/04 時点)
 - ◆ 製品名について
- 1 FUJIFILM IWpro の概要
- 2 FUJIFILM IWpro の利用
 - 2.1 前提条件
 - 2.2 FUJIFILM IWpro の利用手順
 - 2.2.1 管理者サインイン
 - 手順1 接続
 - 手順2 ログイン
 - 2.2.2 共通機能メニュー
 - 2.2.3 FUJIFILM IWpro 文書管理連携画面
 - 連携設定
 - 連携設定タブ - 共通 : アップロード
 - 連携設定タブ - 共通 : エラーメール通知設定
 - 連携設定タブ - 文書管理 : 文書同期設定
 - 連携設定タブ - 文書管理 : 属性テンプレート
 - 連携設定タブ - ワークスペース : ワークスペース設定
 - 一括連携タブ - CSVアップロード
 - 一括連携タブ - 実行時間設定
 - 2.3 事前準備
 - 2.3.1 X-point 認証トークンの生成
 - 2.4 FUJIFILM IWpro の利用
 - 2.4.1 FUJIFILM IWpro との認証
 - 2.4.2 連携設定
 - <共通タブ - アップロード設定>
 - <共通タブ - エラーメール通知設定>
 - <文書管理タブ - 文書同期設定>
 - <文書管理タブ - 属性テンプレート>
 - <ワークスペースタブ - ワークスペース設定>
 - 【フォルダ構成や属性として選べる選択肢】
 - 任意フィールド
 - カスタムフォルダ
 - 代替名称について
 - <共通 - 承認経路連携>
 - <Webhook の設定>
 - <権限設定>
 - 2.4.3 一括連携
 - <一括連携タブ - CSVアップロード>
 - <一括連携タブ - 実行時間設定>
 - <X-pointのクエリ機能を用いたCSV出力>
 - 2.4.4 X-point 書類の提出
 - 2.4.4.1 文書管理やワークスペースへのファイル連携

- 2.4.4.2 ワークスペースに対する通知連携
- 2.5 FUJIFILM IWpro 拡張プラグイン
 - 2.5.1 拡張プラグインの導入
 - 2.5.2 拡張プラグインの初期設定・公開
 - 2.5.3 拡張プラグインの使用方法
 - 2.5.3.1 書類の提出
 - 2.5.3.2 承認状況の確認・編集
 - 2.5.3.3 書類の検索
 - 2.5.3.4 プラグインの設定
 - 2.5.4 拡張プラグインの公開停止
 - 2.5.5 拡張プラグインの更新
- 2.6 利用における注意事項

1 FUJIFILM IWpro の概要

FUJIFILM IWpro とは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社が提供するクラウドサービス型の文書同期・共有システムです。FUJIFILM IWpro と X-point を連携することで、X-point で提出した書類 PDF や添付ファイルを FUJIFILM IWpro に共有保存できます。

また、FUJIFILM IWpro に連携用拡張プラグインを配置することで、書類の起票や、自身に関わる書類の承認状況確認及びワークフロー操作を FUJIFILM IWpro から行うことができます。

2 FUJIFILM IWpro の利用

▼ 用語説明

用語	説明
共通機能	AgileWorks および X-point での両方で利用できるサービスのことを指します。 本マニュアルでは、FUJIFILM IWpro 連携と X-point の連携設定画面がある WEB サイト/WEB システムを指します。

2.1 前提条件

1. 動作環境

FUJIFILM IWpro 連携を利用するには、オプションをご契約頂く必要があります。

2. ブラウザ環境

X-point の環境がサポートされているブラウザを使用してください。

動作環境の詳細は [こちら](#) をご確認ください。

2.2 FUJIFILM IWpro の利用手順

2.2.1 管理者サインイン

FUJIFILM IWpro 連携をご利用いただくには、まず共通機能メニューにサインインする必要があります。

管理者サインイン画面の URL : <https://axuniblox.atledcloud.jp/login>

手順 1 接続

▼ 管理者サインイン画面

X-point タブから URL と X-point ドメインを指定します。

URL において、「https://」と「.atledcloud.jp」は入力済みとなるため、URL から「https://」と「.atledcloud.jp」を除いたものを入力してください。入力後、「接続」ボタンを押下してください。

(例) 「<https://xxxxx.atledcloud.jp>」であれば、「xxxxx」と入力してください。

ATLED Workflow
管理者サインイン

接続先を指定してください

X-point AgileWorks クラウド版 AgileWorks パッケージ版

🌐 https:// URL .atledcloud.jp

🌐 X-pointドメイン

接続

手順 2 ログイン

▼ ログイン画面

ログイン画面では、ユーザとパスワードを指定して、「login」ボタンを押下します。

「login」ボタンを押下すると、共通機能メニュー画面へ遷移します。

※Google Workspace 連携、もしくは SAML 認証サービスを利用する設定になっている場合、未認証であれば連携先の認証ページに遷移します。認証済みであれば、共通機能メニューのページへ遷移します。



user

password

login

- ユーザ
指定したドメインの管理者ユーザを指定します。

※以下のいずれかの権限を保持しているユーザでログイン可能です。



- ドメイン管理権限
- フォーム管理権限
- ユーザ管理権限
- マスタ管理権限
- クエリ管理権限
- 承認管理権限

- パスワード
指定したユーザのパスワードを指定します。

▼ 共通機能メニュー

ログインが完了すると、共通機能メニュー画面が表示されます。

※このメニュー画面には、保有するライセンスによって異なるボタンが表示されます。

 勝 太郎(u001) 

管理者メニュー

Webフォームエディタ

電子サイン連携設定

FUJIFILM IWpro文書管理連携設定

2.2.2 共通機能メニュー

FUJIFILM IWpro に文書管理を行うために、まず共通機能メニューから設定を行う必要があります。
「共通機能メニュー」>「FUJIFILM IWpro 文書管理連携設定」を選択することで、設定画面に遷移します。

※共通機能メニュー画面は、共通機能へアクセスするためのものです。

※保有するライセンスに応じて表示される項目が変わります。

※FUJIFILM IWpro 連携を利用するには、オプションをご契約頂く必要があります。



2.2.3 FUJIFILM IWpro 文書管理連携画面

FUJIFILM IWpro 文書管理連携設定画面では、文書同期を行う FUJIFILM IWpro の設定を行います。

ATLED Workflow 👤 勝太郎(u001) ☰

🏠 FUJIFILM IWpro連携設定

FUJIFILM IWpro連携設定

連携設定 一括連携

認証設定 : 未連携

共通 文書管理 ワークスペース

アップロード設定

ドメインコード :

ユーザコード :

トークンコード :

エラーメール通知設定

TOアドレス ① :

CCアドレス ① :

共通 **文書管理** ワークスペース

文書同期設定

オフィス :

キャビネット :

ドロワー :

フォルダ構成 :

書類のファイル名 ① :

添付ファイル名 ① :

属性テンプレート設定

属性テンプレート :

ワークスペース設定

対象フォーム	:	未指定のすべてのフォーム
テナント	:	<input type="text" value=""/>
ワークスペース	:	<input type="text" value=""/>
トレイ	:	<input type="text" value=""/>
フォルダ構成	:	<input type="text" value=""/>
書類のファイル名 ①	:	<input type="text" value="ファイル名を編集してください"/>
添付ファイル名 ①	:	<input type="text" value="ファイル名を編集してください"/>

FUJIFILM IWpro連携設定

連携設定 一括連携

処理待ち : 0件 処理中 : 0件 完了 : 7件 エラー : 2件 総計 : 9件
次回連携日時 :

CSVアップロード 実行時間設定

CSVアップロード

ドメインコード	:	<input type="text" value="ドメインコードを入力してください"/>
CSVファイル	:	<input type="text" value="ファイルを設定してください"/>

ファイルをドロップするか、クリックしてファイルを選択してください

CSVアップロード 実行時間設定

CSVアップロード

ドメインコード :

CSVファイル :

登録

ファイルをドロップするか、クリックしてファイルを選択してください

処理状況一覧

絞り込み : 全て 処理待ち 処理中 完了 エラー

書類ID	ドメインコード	ステータス	更新日時 ↓	ファイル名
29	300001	完了	2026/03/18 20:01:41	query.csv
28	300001	完了	2026/03/18 20:01:16	query.csv
27	300001	完了	2026/03/18 20:00:57	query.csv

CSVアップロード 実行時間設定

スケジュール設定

実行曜日 : 日 月 火 水 木 金 土

実行時間 : ~

単発実行設定

実行日時 : ~

保存する

<項目の説明>

連携設定

項目	説明
認証連携	FUJIFILM IWpro との OAuth2.0 連携済・未連携の状態を表示します。
文書管理連携	トグルスイッチで文書管理に対する連携機能の ON/OFF を設定できます。
ワークスペース連携	トグルスイッチでワークスペースに対する連携機能の ON/OFF を設定できます。
通知連携	トグルスイッチでワークスペースに通知を連携する機能の ON/OFF を設定できます。
文書管理連携 URL	連携済の場合、文書管理連携の Webhook の送信先 URL を表示します。
ワークスペース連携 URL	連携済の場合、ワークスペース連携の Webhook の送信先 URL を表示します。
通知連携 URL	連携済の場合、通知連携の Webhook の送信先 URL を表示します。
連携解除	押下することで未連携の状態となります。

連携設定タブ - 共通 : アップロード

項目	説明
ドメインコード	X-point のドメインコードを指定します。
ユーザコード	X-point のユーザコードを指定します。
トークンコード	X-point のトークンコードを指定します。

連携設定タブ - 共通 : エラーメール通知設定

項目	説明
TO アドレス	エラーメール通知の TO アドレスを指定します。
CC アドレス	エラーメール通知の CC アドレスを指定します。

連携設定タブ - 文書管理 : 文書同期設定

項目	説明
オフィス	FUJIFILM IWpro のオフィスを選択します。
キャビネット	FUJIFILM IWpro のキャビネットを選択します。
ドロワー	FUJIFILM IWpro のドロワーを選択します。
フォルダ構成	FUJIFILM IWpro に連携する文書のフォルダ構成を選択します。
書類のファイル名	FUJIFILM IWpro に連携する書類 PDF のファイル名を指定できます。
添付ファイル名	FUJIFILM IWpro に連携する書類添付ファイルのファイル名を指定できます。

連携設定タブ - 文書管理 : 属性テンプレート

項目	説明
テンプレート	FUJIFILM IWpro の属性テンプレートを選択します。 属性テンプレートに設定している属性と X-point の各種情報をマッピングできます。

連携設定タブ - ワークスペース : ワークスペース設定

項目	説明
対象フォーム	X-point のフォームを選ぶことで、そのフォーム固有の設定が可能になります。
テナント	FUJIFILM IWpro のテナントを選択します。
ワークスペース	FUJIFILM IWpro のワークスペースを選択します。トレイと同時に選択できません。
トレイ	FUJIFILM IWpro のトレイを選択します。ワークスペースと同時に選択できません。
フォルダ構成	FUJIFILM IWpro に連携する文書のフォルダ構成を選択します。
書類のファイル名	FUJIFILM IWpro に連携する書類 PDF のファイル名を指定できます。
添付ファイル名	FUJIFILM IWpro に連携する書類添付ファイルのファイル名を指定できます。

一括連携タブ - CSVアップロード

項目	説明
次回連携日時	次回の一括連携処理が実行される予定日時を表示します。
連携ステータス	処理待ち・処理中・完了・エラー・総計のそれぞれの件数を表示します。
ドメインコード	一括連携の対象となる X-point のドメインコードを入力します。
CSVファイルアップロード	連携対象の書類情報を記載したCSVファイルをアップロードします。 ドラッグ&ドロップにも対応しています。
処理状況一覧	連携処理の状況を一覧で表示します。 全て・処理待ち・処理中・完了・エラーの条件で絞り込みができます。

一括連携タブ - 実行時間設定

項目	説明
スケジュール設定	定期的に一括連携を実行するための設定です。 実行曜日と実行時間を設定することで、設定した曜日の指定時間に連携処理が実行されます。
実行曜日	一括連携を実行する曜日を選択します。
実行時間	一括連携を実行する時刻を設定します。
単発実行設定	一度だけ一括連携を実行するための設定です。 実行日時を設定することで、設定した日時に一度だけ連携処理が実行されます。
実行日時	一括連携を一度だけ実行する日時を設定します。
設定削除	スケジュール設定・単発実行設定のそれぞれについて、 バケツアイコンを押下することで設定を削除できます。

2.3 事前準備

2.3.1 X-point 認証トークンの生成

【生成方法・確認方法】

X-point 管理サイト>ドメイン管理>「認証情報」を押下します。

▼ 管理サイトのドメイン管理画面

The screenshot shows the X-point management interface. The top navigation bar includes 'X-point', '検証機 勝 太郎(u001)', and user options. The main menu on the left has 'ドメイン' (Domain) highlighted. The breadcrumb trail is 'ドメイン管理 > ドメイン > フォーム関連情報 > メール設定 > ログ > タスク管理 > 定義書出力 > 認証情報'. The '認証情報' link is highlighted with a red box. Below the breadcrumb, the 'ドメイン基本' (Domain Basic) section is visible, containing a table of domain settings.

ドメイン基本設定			
ドメインコード	300001	ドメイン名	検証機
システムURL	https://xp000000px.atledcloud.jp/xpoint/	管理者メールアドレス	admin@atledcloud.jp
ユーザライセンス	30000ユーザ	ゲスト利用	可

「認証情報」を押下すると、以下の画面に遷移します。

「API トークン」の「X-point 認証トークンを生成する」を押下すると、新しい API トークンが生成されます。FUJIFILM IWpro 連携設定では、こちらの API トークンを利用します。

※既に API トークンが生成されている場合は既存の API トークンをご利用頂けます。※アクセス権には「閲覧」の権限が必要になります。

▼ 認証情報画面

The screenshot shows the X-point authentication information page. The breadcrumb trail is 'ドメイン管理 > ドメイン > フォーム関連情報 > メール設定 > ログ > タスク管理 > 定義書出力 > 認証情報'. The 'APIトークン' (API Tokens) section is highlighted with a red box. It contains a table with columns for 'APIトークン', 'アクセス権' (Access Rights), '備考' (Remarks), and '操作' (Actions). Below the table is a button labeled 'APIトークンを保存' (Save API Tokens).

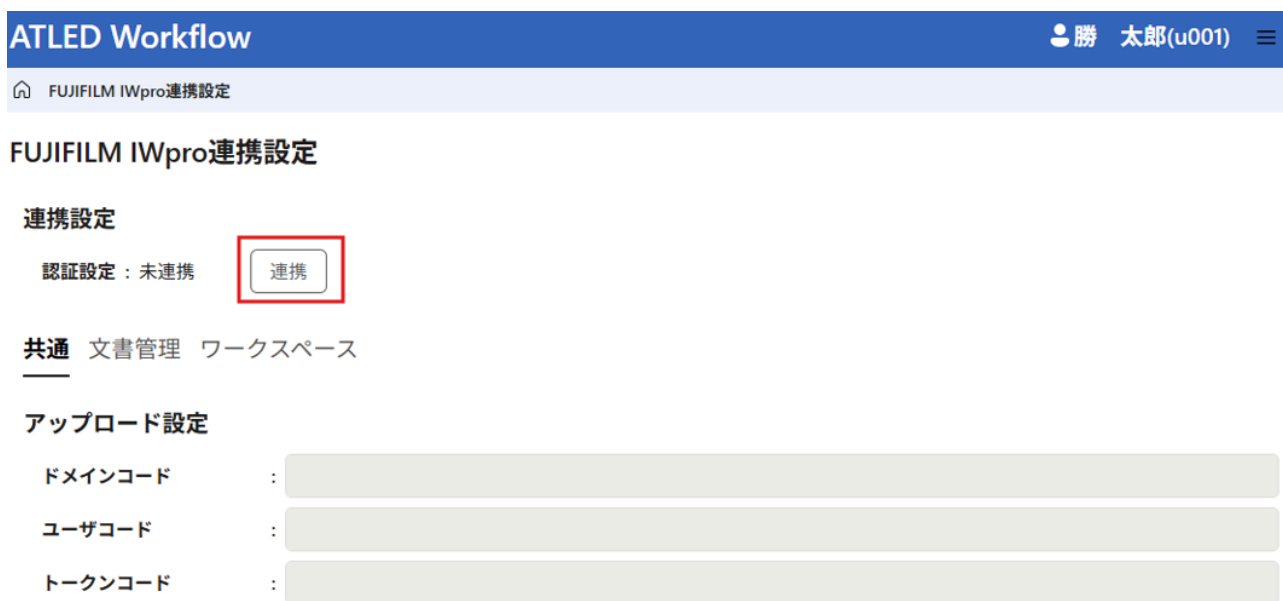
APIトークン	アクセス権	備考	操作
+ X-point認証トークンを生成する			
[Redacted]	<input checked="" type="checkbox"/> 閲覧 <input checked="" type="checkbox"/> 追加 <input checked="" type="checkbox"/> 更新 <input checked="" type="checkbox"/> 削除	登録 勝 太郎(u001) (2023/11/28 10:36:54) 更新 勝 太郎(u001) (2024/07/18 18:11:49)	會
[Redacted]	<input checked="" type="checkbox"/> 閲覧 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 更新 <input type="checkbox"/> 削除	登録 勝 太郎(u001) (2024/07/25 14:28:37) 更新 勝 太郎(u001) (2024/07/25 14:28:37)	會
[Redacted]	<input checked="" type="checkbox"/> 閲覧 <input checked="" type="checkbox"/> 追加 <input checked="" type="checkbox"/> 更新 <input checked="" type="checkbox"/> 削除	登録 勝 太郎(u001) (2025/05/30 11:23:22) 更新 勝 太郎(u001) (2025/05/30 11:23:22)	會

2.4 FUJIFILM IWpro の利用

2.4.1 FUJIFILM IWpro との認証

ご利用の FUJIFILM IWpro の環境と X-point を連携するために、認証操作を行う必要があります。
この操作は初回に加えて、何らかの形で再認証が必要となった場合に実施する必要があります。

FUJIFILM IWpro と未連携の場合、FUJIFILM IWpro 画面に「連携」ボタンが表示されます。
このボタンを押下することで、FUJIFILM IWpro の認証画面に遷移します。
遷移先の画面でログインすることで、X-point との連携を行うことができます。



ATLED Workflow 勝 太郎(u001) ☰

🏠 FUJIFILM IWpro連携設定

FUJIFILM IWpro連携設定

連携設定

認証設定 : 未連携 連携

共通 文書管理 ワークスペース

アップロード設定

ドメインコード :

ユーザコード :

トークンコード :

ログイン操作は FUJIFILM IWpro の管理者ユーザで実行してください。
ここでの管理者とは富士フィルム BI ダイレクトでのテナント管理者、またはサービス管理者を指します。
詳細は FUJIFILM IWpro のマニュアル等をご参照ください。



遷移先で認証情報を入力し、ログインします。
既に FUJIFILM IWpro にログインしている場合は認証情報の入力をスキップして認証されます。

FUJIFILM IWpro連携設定

連携設定

認証設定：連携済み

文書管理連携：ワークスペース連携：通知連携：

連携解除

Webhook設定URL ^

文書管理連携 URL



ワークスペース連携 URL



通知連携 URL



連携に成功した場合、認証連携が「連携済み」となり、各種連携の ON/OFF を切り替えるためのトグルスイッチが表示されます。

また、Webhook URL には X-point の Webhook 送信先の URL が表示されるようになります。
※『2.4.2 Webhook の設定』章で利用します

FUJIFILM IWpro連携設定

連携設定

認証設定：連携済み

文書管理連携：ワークスペース連携：通知連携：

連携解除

Webhook設定URL ^

文書管理連携 URL



ワークスペース連携 URL



通知連携 URL



連携解除ボタンを押下することで、未連携の状態へ戻すことが可能です。
意図しない環境に対して連携してしまった場合など、FUJIFILM IWpro との連携を解除したい場合に利用します。

2.4.2 連携設定

FUJIFILM IWpro に X-point の書類や添付ファイルを共有するにあたって必要な情報を入力します。

<共通タブ - アップロード設定>

アップロード設定

ドメインコード :

ユーザコード :

トークンコード :

エラーメール通知設定

TOアドレス ① :

CCアドレス ① :

X-point の書類を閲覧するための管理者ユーザの情報を入力します。

- ドメインコード (必須)
文書同期するドメインのドメインコードを入力してください。
- ユーザコード (必須)
全ての管理権限を持つユーザを指定してください。
- トークンコード (必須)
「ユーザコード」で指定したユーザに対応する API トークンを指定します。

アクセストークン取得は『2.3.1 X-point 認証トークンの生成』章をご確認ください。

複数のドメインで文書同期を行う場合、「+」ボタンを押下することでフィールドを増やすことが可能です。
また、不要となったドメインはごみ箱アイコンで取り除くことができます。

<共通タブ - エラーメール通知設定>

アップロード設定

ドメインコード :

ユーザコード :

トークンコード :

エラーメール通知設定

TOアドレス ① :

CCアドレス ① :

X-point の FUJIFILM IWpro 連携が期待通り動作しなかった場合、エラーメールを通知します。
TO アドレスと CC アドレスには任意のメールアドレスを指定することができます。

なお、アドレスはカンマ区切りとすることで複数設定することが可能です。

- TO アドレス（必須）
エラーメールを通知する、任意のメールアドレスを指定します。
- CC アドレス
エラーメールを通知する、任意のメールアドレスを指定します。

エラーメールの送信元アドレスは「noreply@atledcloud.jp」になるため、迷惑メールのフィルタから除外するなど、メールが受信できるようにご対応ください。

「テストメール送信」ボタンを押下することで、テストメールが送信されます。
設定のご確認のためにご利用ください。

<文書管理タブ - 文書同期設定>

FUJIFILM IWpro設定

オフィス	:	【SOL基盤開発G手配対象】株式会社エイトレッド	▼												
キャビネット	:	テストキャビネット	▼												
ドロワー	:	同期先のドロワーを選択してください	▼												
フォルダ構成	:	年	▼	-	/	月	▼	-	/	フォームコード	▼	-	/	設定する属性を選択してください	▼
書類のファイル名	:	ファイル名を編集してください													
添付ファイル名	:	ファイル名を編集してください													

X-point の書類を文書管理のドキュメントに連携する場合に設定します。
FUJIFILM IWpro 側のオフィス／キャビネット／ドロワーを選択します。
また、ドロワーに作成するフォルダ構成を選ぶことができます。

- オフィス（必須）
FUJIFILM IWpro 側のオフィスを選択します。
プルダウン式となっており、連携した FUJIFILM IWpro の情報が候補になります。
- キャビネット
FUJIFILM IWpro 側のキャビネットを選択します。
プルダウン式となっており、連携した FUJIFILM IWpro の情報が候補になります。
- ドロワー
FUJIFILM IWpro 側のドロワーを選択します。
プルダウン式となっており、連携した FUJIFILM IWpro の情報が候補になります。
- フォルダ構成
連携ファイルを格納するフォルダ構成を選択します。
プルダウン式となっており、あらかじめ定められた候補から選ぶことができます。
選択肢の中から最大で 4 階層まで選んで構成することができます。
またマイナスアイコンを押下すると、選んだ階層を除去することができます。
- 書類のファイル名
PDF 化して文書同期する書類のファイル名を決めることができます。
ファイル名を設定しなかった場合は書類 ID をファイル名として連携します。
- 添付ファイル名
文書同期する書類の添付ファイル名を決めることができます。
ファイル名を設定しなかった場合は、元々のファイル名のまま連携します。
複数のファイルが書類に添付されている場合、そのすべてに同じルールが適用されます。

書類のファイル名と添付ファイル名は、プルダウン式で選べる属性／接頭文字／区切り文字／接尾文字を組み合わせることで、管理しやすい形でファイル名を設定することが可能です。

接頭文字と接尾文字は入力欄に任意の文字列を入力し設定します。
書類の件名やフォーム名などの属性はプルダウン式のメニューから選んだ後に、追加ボタンを押下することで設定することが可能です。
属性は複数割り当てることが可能で、属性間には区切り文字を指定できます。
なお、接頭文字と接尾文字のみをファイル名とすることはできません。

接頭文字	追加するファイル名の属性	区切り文字	
<input type="text" value="接頭文字を入力してください"/>	<input type="text" value="追加する属性を選択してください"/>	<input type="button" value="アンダースコア"/>	<input type="button" value="追加"/>
接尾文字		<input type="button" value="ハイフン"/>	<input type="button" value="一つ削除"/>
<input type="text" value="接尾文字を入力してください"/>		<input type="button" value="ブランク"/>	<input type="button" value="全削除"/>

<文書管理タブ - 属性テンプレート>

属性テンプレート選択前

属性テンプレート設定

属性テンプレート :

属性テンプレート選択後

属性テンプレート設定

属性テンプレート :

カスタム文字列 :

カスタム日時 :

カスタム短整数 :

- テンプレート

FUJIFILM IWpro 側の属性テンプレートを選ぶことができます。
テンプレートを選択すると、テンプレートに設定しているカスタム属性が表示されます。
カスタム属性と X-point 側の項目をマッピングすることで、連携時にファイルへ属性が付与できます。

ただし、カスタム属性が次に挙げるデータ型の場合はマッピングすることができず、対応しない属性は候補として表示されません。

- ユーザー／グループ型

選択肢となる属性テンプレートはキャビネットに紐づいたものから選ぶことができます。
また、属性を付与するためにはキャビネットにカスタム属性が利用可能となるよう設定が必要です。
詳細は FUJIFILM IWpro のマニュアル等を参照するか、貴社の FUJIFILM IWpro 管理者にお問い合わせください。

属性の型によって適用できる値の範囲が決まっているためご注意ください。
数値にまつわる型では、数値のみ入力可能です。
文字列など数値に変換できない値はブランク（空文字）に変換します。
真偽にまつわる型では、true, false, 1, 0 のみが入力可能です。
true, 1 は真、false, 0 は偽として扱います。また、上記以外の入力も偽に変換します。
日付にまつわる型では、下記に定めた書式の日付のみが入力可能です。
それ以外の場合はブランク（空文字）に変換します。

```
{「YYYY-MM-DDTHH:mm:ss.SSSZ」 「YYYY/MM/DDTHH:mm:ss.SSSZ」
「YYYY-MM-DD HH:mm:ss.SSSZ」 「YYYY/MM/DD HH:mm:ss.SSSZ」
「YYYY-MM-DD HH:mm:ss」 「YYYY/MM/DD HH:mm:ss」
「YYYY-MM-DD HH:mm」 「YYYY/MM/DD HH:mm」}
```

<ワークスペースタブ - ワークスペース設定>

共通 文書管理 ワークスペース

ワークスペース設定

対象フォーム	: 未指定のすべてのフォーム
テナント	: <input type="text" value=""/>
ワークスペース	: <input type="text" value=""/>
トレイ	: 同期先のトレイを選択してください
フォルダ構成	: <input type="text" value=""/>
書類のファイル名 ^⓪	: ファイル名を編集してください
添付ファイル名 ^⓪	: ファイル名を編集してください

X-point の書類をワークスペースに連携する場合に設定します。
FUJIFILM IWpro 側のテナントと、ワークスペース／トレイを選択します。
また、ワークスペース／トレイに作成するフォルダ構成を選ぶことができます。
(ワークスペースとトレイはどちらか一方のみ選ぶことが可能です)

この設定は X-point のフォームごとに設定することが可能です。
「+」ボタンを押下すると入力フィールドが追加され、
フォームごとに異なるワークスペースやトレイへ連携する設定が可能です。
なお、最初に登録する設定は「未指定のすべてのフォーム」から変更することはできず、
連携する書類がいずれのフォームにも合致しない場合に適用される設定となります。

- 対象フォーム (必須)
設定を適用したい X-point のフォームを選択します。
プルダウン式となっており、連携した X-point の登録フォームが候補になります。
「未指定のすべてのフォーム」が指定されている場合は変更できません。
- テナント (必須)
FUJIFILM IWpro 側のテナントを選択します。
プルダウン式となっており、連携した FUJIFILM IWpro の情報が候補になります。
- ワークスペース
FUJIFILM IWpro 側のワークスペースを選択します。
プルダウン式となっており、連携した FUJIFILM IWpro の情報が候補になります。
トレイと同時に選ぶことはできず、トレイを選ばなかった場合には必須項目となります。
- トレイ
FUJIFILM IWpro 側のトレイを選択します。
プルダウン式となっており、連携した FUJIFILM IWpro の情報が候補になります。
ワークスペースと同時に選ぶことはできず、ワークスペースを選ばなかった場合には必須項目となります。
- フォルダ構成
連携ファイルを格納するフォルダ構成を選択します。
プルダウン式となっており、あらかじめ定められた候補から選ぶことができます。
選択肢の中から最大で 4 階層まで選んで構成することができます。
またマイナスアイコンを押下すると、選んだ階層を除去することができます。
- 書類のファイル名
PDF 化して文書同期する書類のファイル名を決めることができます。
ファイル名を設定しなかった場合は書類 ID をファイル名として連携します。

- 添付ファイル名
文書同期する書類の添付ファイル名を決めることができます。
ファイル名を設定しなかった場合は、元々のファイル名のまま連携します。
複数のファイルが書類に添付されている場合、そのすべてに同じルールが適用されます。

【フォルダ構成や属性として選べる選択肢】

以下の項目が選択肢となります。

書類ID, 件名, 件名2, フォームコード, フォーム名称, 承認ルートコード, 承認ルート名称
申請者のユーザーコード, 申請者のユーザ名, 申請年月日
最終承認者のユーザーコード, 最終承認者のユーザ名, 最終承認年月日,
任意フィールド, カスタムフォルダ

任意フィールド

「任意フィールド」を選んだ場合、フォームのフィールド ID を入力することが可能です。
連携する X-point 書類に指定した ID のフィールドが存在するとき、
そのフィールド値がフォルダ名やファイル名として適用されます。

指定した ID のフィールドが存在しなかった場合については[代替名称について](#)をご参照ください。

文書同期設定

オフィス	:	<input type="text"/>
キャビネット	:	<input type="text"/>
ドロワー	:	<input type="text"/>
フォルダ構成	:	<input type="text" value="フィールドIDを入力してください"/> <input type="button" value="v"/> <input type="button" value="-"/> <input type="text" value="設定する属性を選択してください"/> <input type="button" value="v"/>
書類のファイル名 ①	:	<input type="text" value="ファイル名を編集してください"/>
添付ファイル名 ①	:	<input type="text" value="ファイル名を編集してください"/>

カスタムフォルダ

フォルダ構成では「カスタムフォルダ」を設定することができます。
カスタムフォルダを選んだ場合、「カスタムフォルダ名」欄が表示されます。
カスタムフォルダ名には接頭文字、接尾文字、フォームコード等の属性値を組み合わせた名称を設定できます。
最終的に連携する場合の文字列長が 100 文字以内になるように設定してください。

通常、フォルダ構成は 4 階層まで設定することが可能ですが、
カスタムフォルダを選択した場合、それ以降の階層は追加できません

文書同期設定

オフィス	:	<input type="text"/>	▼
キャビネット	:	<input type="text"/>	▼
ドロワー	:	<input type="text"/>	▼
フォルダ構成	:	フィールドIDを入力 ▼ - /	カスタムフォルダ ▼ - /
カスタムフォルダ名 ⑩	:	ファイル名を編集してください	
接頭文字		追加するフォルダ名の属性	区切り文字
<input type="text"/>		追加する属性を選択してください ▼	<input type="button" value="アンダースコア"/>
接尾文字		任意フィールド	<input type="button" value="ハイフン"/>
<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="button" value="ブランク"/>
			<input type="button" value="追加"/>
			<input type="button" value="一つ削除"/>
			<input type="button" value="全削除"/>

代替名称について

任意フィールドやカスタムフォルダでは、設定によっては実際の値が空文字となる場合があります。このような場合にはエラーを避けるためにシステム側で代替となる文字列を設定する場合があります。設定したフィールド ID が当該書類に存在しない場合など、階層に与える名称が空文字となるとき、代替として `folder` を階層の名称として適用します。

<共通 - 承認経路連携>

X-point の書類を FUJIFILM IWpro に連携する際、承認経路を含めて連携することが可能です。
※この機能はX-pointのバージョンが3.12.00以降からご利用になれます。
承認経路は PDF に記載され、連携先に出力されます。

No.	処理日時	ステップ	処理内容	処理ユーザ
1	2025/12/04 15:34:31	申請	申請	営業1部2課第3チーム 一般 / General 寺崎啓一(u001)
2	2025/12/04 15:34:37	承認1	承認	アジャイルホールディングス st001(st001)
3	2025/12/04 15:34:46	承認2	承認	営業1部2課第3チーム 一般 / General 寺崎啓一(u001)

文書管理連携とワークスペース連携では、承認経路の扱いが異なります。

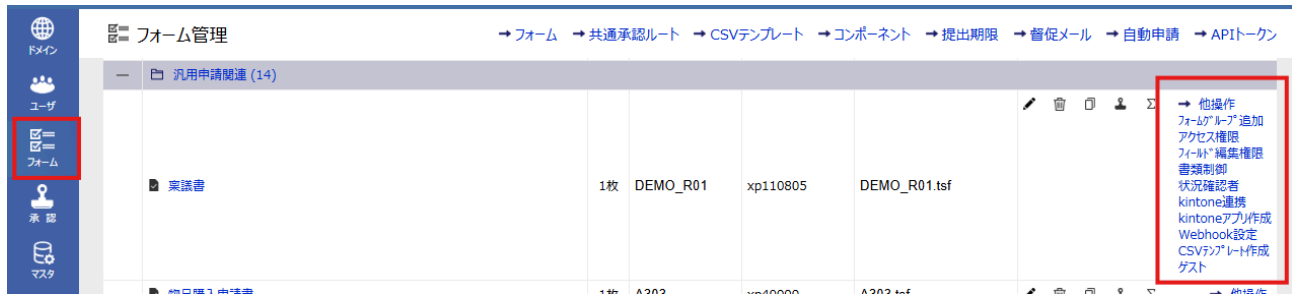
- 文書管理連携
常に承認経路を含めて連携を行います。
- ワークスペース連携
ラジオボタンから必要に応じて承認経路連携の ON・OFF を設定できます。

承認経路

< Webhook の設定 >

X-point から FUJIFILM IWpro へ連携するために、X-point 側に Webhook の設定を行います。

管理者サイト>フォーム管理>文書同期するフォーム>他操作> Webhook 設定 を選択します。



送信先 URL には『2.4.1. FUJIFILM IWpro との認証』章で認証後に表示される連携設定に記載している Webhook URL を指定し、その後「保存」ボタンを押下します。
※「テスト送信」には対応していません



設定できる Webhook は複数あり、それぞれ FUJIFILM IWpro の特定の機能に連携することができます。ご利用になりたい機能ごとに設定する Webhook を使い分けてご利用ください。

- 文書管理へのファイル連携
- ワークスペースへのファイル連携
- ワークスペースへの通知連携

<権限設定>

FUJIFILM IWpro 連携設定画面の「アップロード設定」で指定した管理者ユーザが該当書類に対する閲覧権限を持っていない場合は、本システムで FUJIFILM IWpro 連携を実施することができませんので、必ず設定してください。

FUJIFILM IWpro 連携設定の「アップロード設定」で指定した管理者ユーザに、以下のいずれかの方法で権限を与えてください。

- フォームに対する閲覧権限を付与する
- FUJIFILM IWpro の連携ユーザをワークフロー関係者に含むように運用する

以下、前者の設定方法を記載します。

アクセス権限画面にて、承認状況が【承認完了】のフォームに対する閲覧権限で、「全ユーザに権限を与える」または「指定したユーザに権限を与える」を選択してください。

「指定したユーザに権限を与える」を選択した場合は、FUJIFILM IWpro 連携設定の「アップロード設定」で指定したユーザを指定してください。

※「全ユーザに権限を与える」を選択した場合は全ユーザに対して、該当するフォームの閲覧権限を与えてしまうため、「指定したユーザに権限を与える」を推奨しております。

画像はサンプルとして、「指定したユーザに権限を与える」を選択しております。

「指定したユーザに権限を与える」場合は、FUJIFILM IWpro 連携設定の「アップロード設定」で指定したユーザを追加してください。

☰ フォーム管理 → フォーム → 共通承認ルート → CSVテンプレート → コンポーネント → 提出期限 → 督促メール → 自動申請

アクセス権限 ☰ 一覧 📁 フォームグループ + フォーム

【稟議書】のアクセス権限の設定を行います。

閲覧・修正・削除 コメント・PDF・添付

承認状況	閲覧権限		修正権限
	書類に対する閲覧権限	フォームに対する閲覧権限	
【承認中】 承認中 差し戻し 保留	<input checked="" type="radio"/> ワークフロー関係者	<input checked="" type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 全ユーザに権限を与える <input type="radio"/> → 指定したユーザに権限を与える <input type="text" value="指定なし"/>	<input checked="" type="radio"/> ワークフロー関係者 ※ 承認ルートのステップ毎に「編集」ナビボタンの権限付与が行えます → 承認ルート設定
【承認完了】 承認完了 却下	<input checked="" type="radio"/> ワークフロー関係者 ※ 承認完了後、ワークフロー関係者に権限が与えられ、書類単位で権限の追加と削除が行えます → 承認完了書類の閲覧管理	<input type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 全ユーザに権限を与える <input checked="" type="radio"/> → 指定したユーザに権限を与える <input type="text" value="管理者"/> <input type="checkbox"/> 却下書類の閲覧権限を設定する <input type="radio"/> 指定しない <input checked="" type="radio"/> 全ユーザに権限を与える <input type="radio"/> → 指定したユーザに権限を与える <input type="text" value="指定なし"/>	<input type="checkbox"/> 承認完了書類の修正保存を許可する <input type="radio"/> 全ユーザに権限を与える <input checked="" type="radio"/> ワークフロー関係者に権限を与える <input checked="" type="radio"/> 申請者に権限を与える <input type="radio"/> → 指定したユーザに権限を与える <input type="text" value="指定なし"/> ※ 却下書類は修正保存、再申請はできません <input type="checkbox"/> 承認完了書類の取り戻しを許可する <input checked="" type="radio"/> 最終承認者のみ <input type="radio"/> → 最終承認者と指定したユーザ <input type="text" value="指定なし"/>

保存

2.4.3 一括連携

一括連携機能では、過去に提出された書類について CSV ファイルを用いて一括で FUJIFILM IWpro の文書管理に連携することができます。

ATLED Workflow 勝太郎(u001) ☰

🏠 FUJIFILM IWpro連携設定

FUJIFILM IWpro連携設定

連携設定 一括連携

処理待ち : 0件 処理中 : 0件 完了 : 0件 エラー : 0件 総計 : 0件

次回連携日時 : ~

CSVアップロード 実行時間設定

CSVアップロード

ドメインコード :

CSVファイル : 登録

ファイルをドロップするか、クリックしてファイルを選択してください

一括連携を利用することで、所定のフォーマットの CSV をアップロードし、その CSV に記載された書類を IWpro の文書管理に連携できます。

<一括連携タブ - CSVアップロード>

CSV アップロードタブでは、連携対象の書類情報を記載した CSV ファイルをアップロードし、連携処理の状況を確認できます。

CSVアップロード 実行時間設定

CSVアップロード

ドメインコード	:	<input type="text" value="ドメインコードを入力してください"/>	
CSVファイル	:	<input type="text" value="ファイルを設定してください"/>	<input type="button" value="登録"/>

ファイルをドロップするか、クリックしてファイルを選択してください

処理状況一覧

絞り込み:

書類ID	ステータス	更新日時 ↓	ファイル名
------	-------	--------	-------

連携ステータス

画面上部には連携のステータスが表示され、それぞれの件数を確認できます。

- 処理待ち：連携処理待ちの書類件数
- 処理中：現在連携処理中の書類件数
- 完了：連携処理が完了した書類件数
- エラー：連携処理でエラーになった書類件数
- 総計：全体の書類件数

連携ステータスが **処理待ち** になっている書類が次回の一括連携処理での連携対象です。

完了 や **エラー** の書類は連携対象となりません。ご注意ください。

上記ステータスとなった書類を再び連携したい場合は、再度CSVアップロードを実施してください。

次回連携日時

次回の一括連携処理が実行される予定日時が表示されます。

実行時間設定で設定したスケジュールまたは単発実行の日時が表示されます。

CSVアップロード

- ドメインコード（必須）
一括連携の対象となる X-point のドメインコードを入力してください。
- CSVファイル（必須）
連携対象の書類情報を記載した CSV ファイルをアップロードしてください。
ファイルの選択ボタンから選択するか、ドラッグ&ドロップでアップロードできます。

CSV ファイルでは、以下の書式で連携対象となる書類の書類 ID を記載してください。

項目	仕様
ヘッダ行	あり（1行目をヘッダとして扱います）
1列目の列名	書類No （X-point書類の書類番号）

値の形式	ダブルクォート (") で囲む
文字コード	SJIS
改行コード	CRLF

X-pointのクエリ機能を用いて上記フォーマットのCSVを出力することが可能です。
 こちらについては、[<X-pointのクエリ機能を用いたCSV出力>](#)を参照してください。

CSVにすでに登録済みの書類番号が含まれている場合は、自動的に1つのデータとしてまとめられます。
 複数回に分けてアップロードした場合、データは重複せずに上書きされた状態で保存されます。

処理状況一覧

連携処理の状況を一覧で確認できます。一覧した結果は以下の条件で絞り込みが可能です。

- 全て：すべての処理状況を表示
- 処理待ち：連携待ち、まだ処理されていない書類のみ表示
- 処理中：連携が実行中の書類のみ表示
- 完了：連携完了した書類のみ表示
- エラー：連携処理がエラーになった書類のみ表示

<一括連携タブ - 実行時間設定>

実行時間設定タブでは、一括連携処理を実行するスケジュールを設定できます。

CSVアップロード 実行時間設定

スケジュール設定

実行曜日 : 日 月 火 水 木 金 土

実行時間 : ~

単発実行設定

実行日時 :  ~ 

実行時間設定は「スケジュール設定」と「単発実行設定」の2つのセクションで構成されます。

スケジュール設定

定期的に一括連携を実行するための設定です。

- 実行曜日
一括連携を実行する曜日を選択してください。複数の曜日を選択できます。
- 実行時間
一括連携を実行する時刻を設定してください（24時間形式）。

設定した曜日の実行時間になると、CSV アップロードタブでアップロードされた処理待ち書類の連携処理が自動的に実行されます。

単発実行設定

一度だけ一括連携を実行するための設定です。

- 実行日時
一括連携を一度だけ実行する日時を設定してください。

設定した日時になると、CSV アップロードタブでアップロードされた処理待ち書類の連携処理が実行されます。

設定の削除

スケジュール設定・単発実行設定のそれぞれについて、バケツアイコンを押下することで設定を削除できます。

※不意に連携が動作しないように、平時は削除しておくことを強く推奨します。

＜X-pointのクエリ機能を用いたCSV出力＞

一括連携に必要なCSVは書式に沿って手動で作成するほか、X-pointのクエリ機能で作成することが可能です。本項ではその方法について説明します。

まず、X-pointの管理者サイト＞クエリ管理＞クエリメニューを選択します。
基本情報の画面に遷移するので以下の項目を入力します。設定後、次へを押下します。
(表にない項目は任意の値を設定するか、初期値にしたままで設定可能です)

項目	仕様
クエリ名	分かりやすい名称を設定します
フォーム	一括連携したいフォームを選びます
クエリ種別	一覧
表定義	使用しない
開始行マークの指定	使用しない
CSVファイルのヘッダー表示	表示する

X-point X-pointトライアル 勝 太郎(u001) ユーザサイトへ 管理者マニュアル ログアウト

クエリ管理 → クエリ設定 → マイクエリ権限設定 → タスクログ

クエリ作成 一覧 クエリグループ クエリ 連結クエリ

コピー

基本情報

クエリコード
① 省略すると自動生成されます。

クエリ名
IWpro一括連携クエリ

フォーム
選択
仮払申請書

クエリ種別
一覧 サマリ クロス集計

表定義
使用する -- 表定義 --
使用しない

開始行マークの指定
使用する 先頭行文字 * 継続行文字
使用しない

CSVファイル名
① CSVファイル名を指定しない場合は「query.csv」となります。 .csv

CSVファイルのヘッダー表示
表示する
表示しない
③ CSVファイル自動出力された書類だけを出力済みにする

CSVファイル出力済み管理
クエリ機能で出力された書類を全て出力済みにする
※管理者サイトで出力された書類は、出力済みにはなりません。

表示列設定の画面では 表示列の並び順設定 から 書類No を先頭に移動します。
その後、 書類No にチェックし 次へ を押下します。
(書類No 以外の項目はチェックする必要はありませんが、チェックしても構いません)

X-point X-pointトライアル 勝 太郎(u001) ユーザサイトへ 管理者マニュアル ログアウト

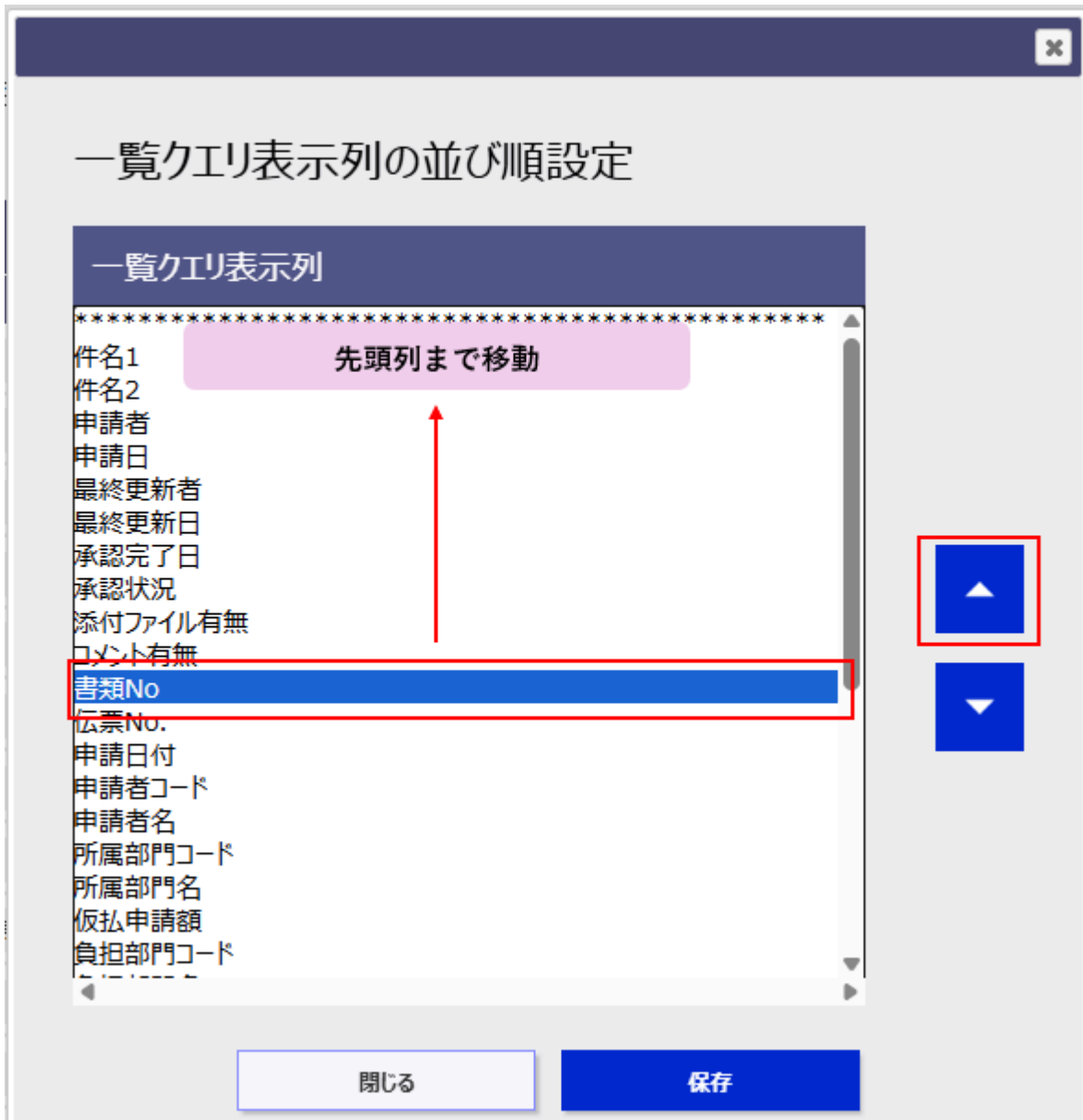
クエリ管理 → クエリ設定 → マイクエリ権限設定 → タスクログ

クエリ作成 一覧 クエリグループ クエリ 連結クエリ

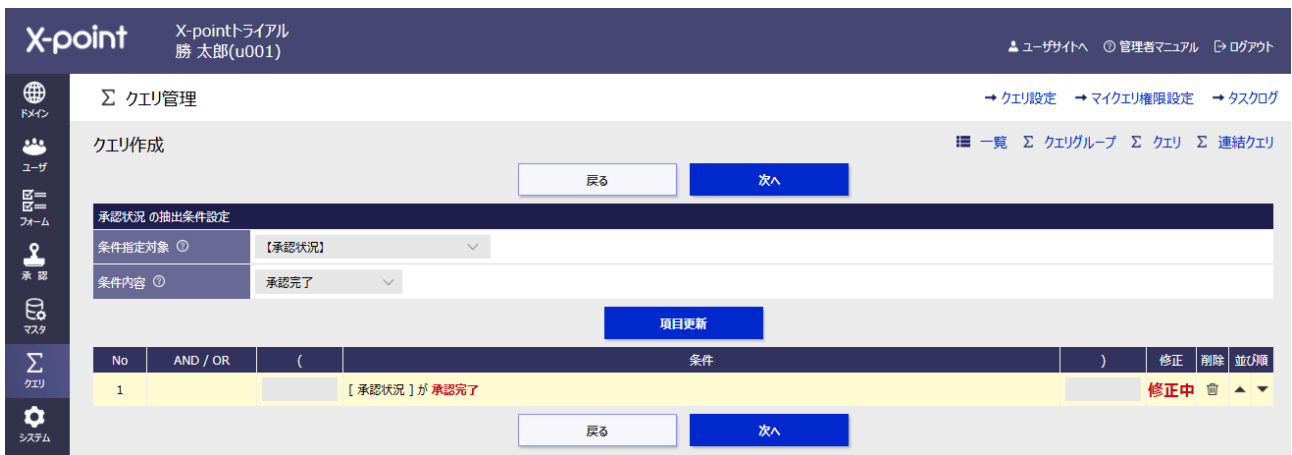
戻る 次へ

表示列設定 カスタム列を追加する 表示列の並び順設定

表示列設定	列名	クエリ表示名	型	
<input checked="" type="checkbox"/>	書類No	書類No		フォーマット設定を表示
<input checked="" type="checkbox"/>	件名1	件名1		フォーマット設定を表示
<input checked="" type="checkbox"/>	件名2	件名2		フォーマット設定を表示
<input checked="" type="checkbox"/>	申請者	申請者		フォーマット設定を表示
<input checked="" type="checkbox"/>	申請日	申請日		フォーマット設定を表示
<input type="checkbox"/>	最終更新者	最終更新者		フォーマット設定を表示
<input type="checkbox"/>	最終更新日	最終更新日		フォーマット設定を表示



抽出条件設定の画面では、**条件指定対象** を設定します。
 本項の例では **承認状況** が **承認完了** となっている例を挙げていますが、
 必要に応じて書類の入力内容に応じた設定を追加することも可能です。
 設定後、**次へ** を押下します。



次へを押下すると検索項目設定、利用可能ユーザの設定画面と遷移しますが、
 こちらに関しては運用に適した内容を設定し（未入力でも可）、クエリの作成を完了してください。

作成方法に関して詳細はX-pointのマニュアルをご参照ください。

X-point管理者機能マニュアル>クエリ管理>クエリの作成

作成後、管理者サイトのクエリー一覧から当該クエリを選択し、文字コードに SJIS を選択肢で CSV出力 でCSVをダウンロードします。

名称	種別	使用フォーム	備考	操作
IWpro一括連携クエリ	一覧	仮払申請書		✎ ☰ ☰
交通費精算書一覧	一覧	交通費精算書		✎ ☰ ☰
交通費精算書 部署別集計	クロス集計	交通費精算書		✎ ☰ ☰
クレーム報告書	クロス集計	クレーム報告書		✎ ☰ ☰
業議書一覧	一覧	業議書		✎ ☰ ☰
業議書集計	クロス集計	業議書		✎ ☰ ☰
経費精算 科目別サマリ	サマリ	経費精算書		✎ ☰ ☰

書類NOで絞り込む

申請日で絞り込む

最終更新日で絞り込む

申請者で絞り込む

承認状況で絞り込む

表示件数

500件 ずつ表示

クエリ実行

クリア

IWpro一括連携クエリ

クエリ名: IWpro一括連携クエリ (一覧) フォーム名: 仮払申請書

抽出条件: 承認状況=承認完了

絞り込み条件

文字コード: SJIS UTF-8

リポート **CSV出力**

件数: 21件

▼書類No	▼件名1	▼件名2	▼申請者	▼申請日
802	100048/濱崎 伝朗	24,500	濱崎 伝朗	2014/04/22 09:45:21
801	100049/濱崎 伝朗	14,500	濱崎 伝朗	2014/04/22 09:45:35
800	100050/濱崎 伝朗	2,600	濱崎 伝朗	2014/04/22 09:45:57
799	100051/濱崎 伝朗	32,500	濱崎 伝朗	2014/04/22 09:46:18
798	100052/濱崎 伝朗	40,000	濱崎 伝朗	2014/04/22 09:46:34
797	100047/濱崎 伝朗	50,000	濱崎 伝朗	2014/04/22 09:45:07
746	100041/西本 武則	55,500	西本 武則	2014/04/21 18:34:10
744	100043/西本 武則	24,000	西本 武則	2014/04/21 18:34:38
743	100044/西本 武則	145,000	西本 武則	2014/04/21 18:34:49
742	100045/西本 武則	54,100	西本 武則	2014/04/21 18:35:11

2.4.4 X-point 書類の提出

2.4.4.1 文書管理やワークスペースへのファイル連携

Webhook を設定した X-point 書類が承認完了したとき、FUJIFILM IWpro の文書管理やワークスペースに対して文書が同期されます。

同期される文書は以下の通りです。

- X-point で提出した書類の PDF ファイル
- 当該書類の添付ファイル

何らかの理由で文書同期に失敗した場合、エラーメールの通知先として設定したメールアドレスにメールが送信されます。

文書は『2.4.2 連携設定』で設定した FUJIFILM IWpro 設定 > フォルダ構成 で指定したフォルダに配置されます。対象のフォルダが存在しない場合は、フォルダが自動的に作成されます。また、属性テンプレートの設定を行っている場合は、同期する文書に設定した属性が付与されます。

書類に複数のファイルが添付されていた場合、そのすべてが同期の対象になります。

2.4.4.2 ワークスペースに対する通知連携

FUJIFILM IWpro のワークスペースに対して通知を行う場合、Webhook を設定した X-point 書類で提出や承認などのイベントが発生したとき、その X-point ユーザと同じメールアドレスを登録している FUJIFILM IWpro ユーザのワークスペースに通知が送信されます。

対象となるユーザが存在しなかったときや、対象となるユーザが複数検出されたとき、共通機能のワークスペース連携設定が未設定の場合をはじめ、何らかの理由で通知を送ることができない場合には通知の送信はキャンセルされます。（キャンセルされた通知は以降送信されません）

2.5 FUJIFILM IWpro 拡張プラグイン

FUJIFILM IWpro 拡張プラグインは、お客様がご利用の FUJIFILM IWpro に配置することで、X-point へ書類の起票、書類の承認状況確認や、ワークフロー操作が可能なプラグインです。

2.5.1 拡張プラグインの導入

拡張プラグインの利用手続き（FUJIFILM IWpro 側での作業）が完了すると、ご利用の FUJIFILM IWpro に拡張プラグインが配置されます。

配置されたプラグインは「管理メニュー」から「ワークスペース」を開き、「拡張プラグイン」の欄に配置されます。

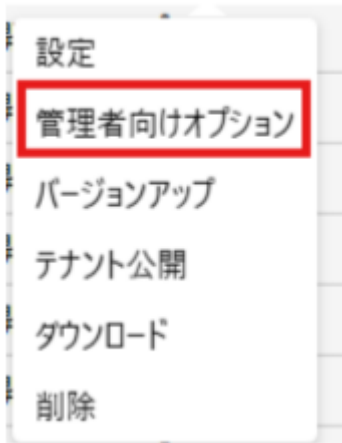


拡張プラグイン管理画面に「X-point widget for FUJIFILM IWpro」が配置されていることを確認できます。



2.5.2 拡張プラグインの初期設定・公開

「管理メニュー/ワークスペース」の「拡張プラグイン」から、[2.5.1 拡張プラグインの導入](#)で導入した、「X-point widget for FUJIFILM IWpro」を選択し、「管理者向けオプション」を開きます。



管理者向けオプション画面からご利用の X-point の情報を入力します。

入力する情報

- 連携に利用する X-point ドメイン
連携するドメインのドメインコードを指定します。
- 外部から接続できる X-point の URL(サブドメイン)
例：「<https://xxxxx.atledcloud.jp>」であれば、「xxxxx」と入力してください。
- OAuth2.0 クライアント ID

A form titled '管理者向けオプション' with a close button (X) in the top right corner. It contains three input fields with labels and instructions below them:

- ドメインコード
X-pointドメイン管理で設定したドメインコードです。
- サブドメイン
X-pointドメイン管理のシステムURLに設定したサブドメインです。
- クライアントID
X-pointドメイン管理で発行したクライアントIDです。

At the bottom of the form is a blue button labeled '設定'.

※OAuth2.0 クライアント ID は X-point 管理者サイトのドメイン管理>認証情報から確認・発行が可能です。



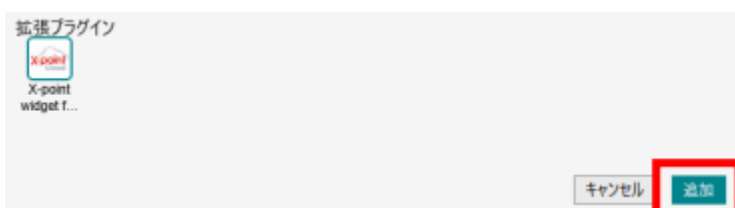
管理者向けオプション画面から設定が完了後、
「X-point 連携プラグイン」を選択して「テナント公開」を選択します。



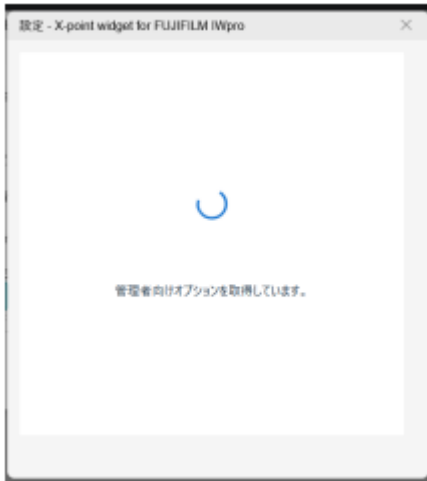
テナント公開を行うと、一般ユーザのワークスペースに拡張プラグインが利用可能な状態になります。
ワークスペース画面のタスクナビゲーションバーにある「+」ボタンを押下します。



「ツール追加」ウィンドウから拡張プラグイン欄にある「X-point widget forFUJIFILM IWpro」を選択し、「追加」します。



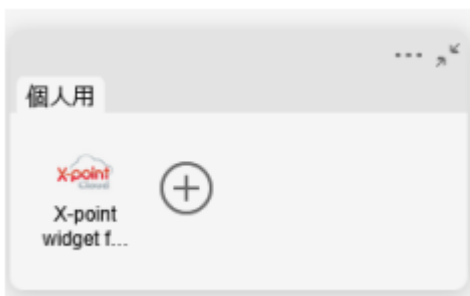
「追加」を押下すると、設定画面が表示されます。（この画面はしばらくしたのち、自動的に閉じます）



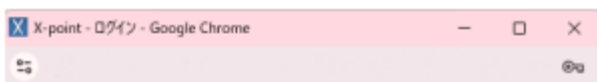
追加が完了するとタスクナビゲーションバーにプラグインが表示され利用可能になります。

2.5.3 拡張プラグインの使用方法

追加したプラグインをクリックするとプラグインが起動します。
(このときブラウザでポップアップがブロックされた場合は許可してください)



拡張プラグインの初回起動時は接続する X-point へのログインが必要です。



X-point

user

password

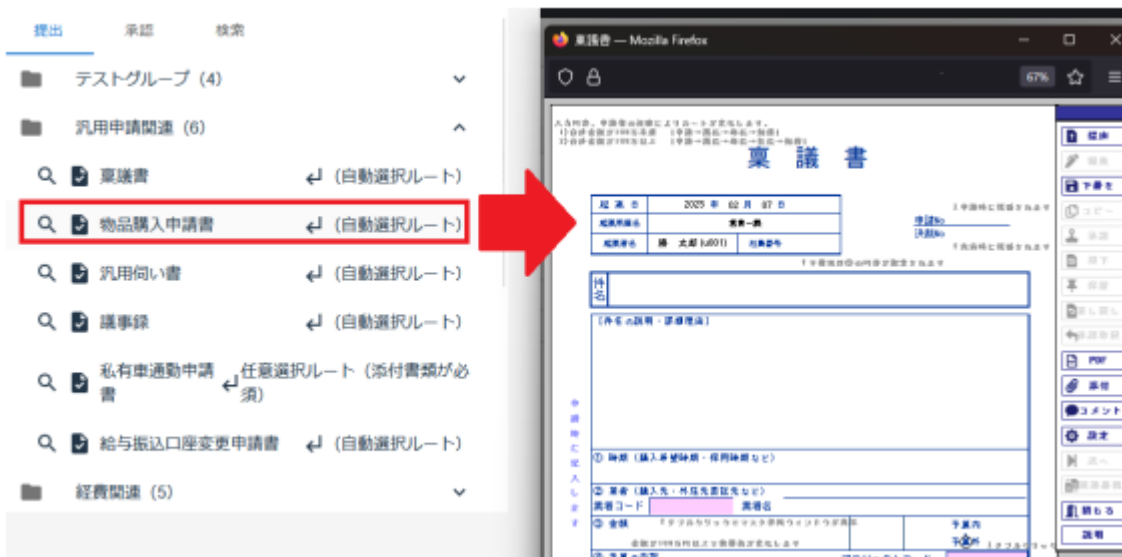
login

ログインに成功すると、拡張プラグインの設定及び認証が完了します。

※認証状態は最後に認証ログイン操作を行ってから 180 日間保持されます。
認証状態の保持期間が終了した際は再度ログイン認証を行う必要があります。
(ただし、X-point 側でユーザ削除やログイン拒否した場合は期間内でも利用不可となります)

2.5.3.1 書類の提出

拡張プラグインを起動後、「提出」タブから任意のフォームを選択するとX-pointの書類作成画面が表示され、書類の提出が可能になります。



ワークスペースの書類を選択した状態で拡張プラグインを起動し、任意のフォームを選択すると、選択したワークスペース内書類を添付ファイルに含んだ状態で書類の作成を行うことができます。



なお、この方法で添付できるファイルは1つまでとなります。
またファイルサイズには5MBの制限を設けており、それを超えるファイルは添付できません。

2.5.3.2 承認状況の確認・編集

「承認」タブから、書類を承認状況ごとに確認できます。

提出 承認 検索

承認待ち 差し戻され 5 下書き 1 保留 1

承認中(申請) 10 差し戻し 承認完了(申請) 99+ 却下

閲覧 6 承認中(承認) 承認完了(承認)

件名	書類	提出者	日付
1月分経費	経費申請書	佐藤	2023/01/01 12:00:00
1月分経費	経費申請書	加藤	2023/01/01 12:00:00

承認状況のボタンを押下することで承認状況ごとの書類を確認できます。
別の承認状況を確認したい場合は「×」ボタンでグループを閉じます。

提出 承認 検索

承認中(申請) 行数 20 1-20 of 49 < > ×

No	件名	フォーム	申請者	申請日	更新日
1280	山手線	住所変更届	勝 太郎(u001)	2021/06/02 16:40:37	2024/10/04 14:19:19
1287	無線マウス購入稟議	稟議書	勝 太郎(u001)	2021/06/02 16:41:52	2024/10/04 14:18:12
1398	X02-357/勝 太郎(u001)	経費精算書	勝 太郎(u001)	2024/10/03 10:01:42	2024/10/04 14:17:29

承認一覧として表示された書類を選択すると、書類の編集やワークフロー操作を行えます。

承認中(申請) 差し戻し 承認完了(申請) 却下

閲覧 承認中(承認) 4 承認完了(承認)

件名	書類	提出者	日付
馬 曉蓄	残業申請書	馬 曉蓄	2025/05/14 21:39:52
2025年05月07日/開発部/馬 曉蓄	端末持出申請書	馬 曉蓄	2025/05/07 15:59:26
X02-364/開発部/吉井智也	B042経費精算書	吉井智也	2025/04/15 11:13:16
吉井智也	残業申請書	吉井智也	2025/04/15 11:10:49
開発部/吉井智也	在宅勤務申請書	吉井智也	2025/04/15 11:08:49

残業申請書

申請No. X03-194

申請日 2025 年 04 月 15 日

所属 開発部
氏名 s004 吉井智也 (吉井智也 2025-04-15 申請)

残業区分 2025年 04月 15日

期間

早出 時 分より 時 分まで 早出 (時間 分)

普通 18 時 00 分より 19 時 00 分まで 普通 (1 時間 0 分)

深夜 時 分より 時 分まで 深夜 (時間 分)

合計 1 時間 0 分

社内 客先 (会社への立ち寄り 有・無)

場所 お客様名

業務 ※会社への立ち寄りがある場合は必ずタイムカードを打刻してください。
開発

提出 編集 下書き コピー 承認 却下 保留 差し戻し 承認取戻 PDF 添付 コメント 設定

2.5.3.3 書類の検索

「検索」タブから書類の検索を行うことが可能です。

提出 承認 **検索**

フォーム名 書類No

件名 承認状況

検索

以下の検索条件を任意に設定して「検索」ボタンを押下することで、検索条件に沿った書類が表示されます。

- フォーム名
- 書類 No
- 件名
- 承認状況

提出 承認 **検索**

フォーム名 **経費** 書類No

件名 承認状況 **承認中**

検索

行数 20 1-5 of 5

No	件名	フォーム	状況	申請者	申請日	更新日
1398	X02-357/勝 太郎(u001)	経費精算書	承認中	勝 太郎(u001)	2024/10/03 10:01:42	2024/10/04 14:17:29
1205	X02-336/勝 太郎(u001)	経費精算書	承認中	勝 太郎(u001)	2021/06/02 08:29:46	2021/06/02 09:30:24
1210	X02-338/勝 太郎(u001)	経費精算書	承認中	勝 太郎(u001)	2021/06/02 08:34:40	2021/06/02 08:34:40
1115	X02-333/勝 太郎(u001)	経費精算書	承認中	勝 太郎(u001)	2021/05/26 15:56:26	2021/05/26 15:56:27
1114	X02-332/勝 太郎(u001)	経費精算書	承認中	勝 太郎(u001)	2021/05/26 15:53:57	2021/05/26 15:53:58

検索結果として表示された書類を選択すると、書類の内容を確認できます。

提出 承認 **検索**

フォーム名 交通費精算書 書類No

件名 承認状況 承認中

1444

申請日 2025/02/07 18:...

交通費精算書

申請者 勝 太郎(u001)

申請日 2025/02/07 18:...

合計 0 円 (内消費税 0 円) 支払方法 現金・振込

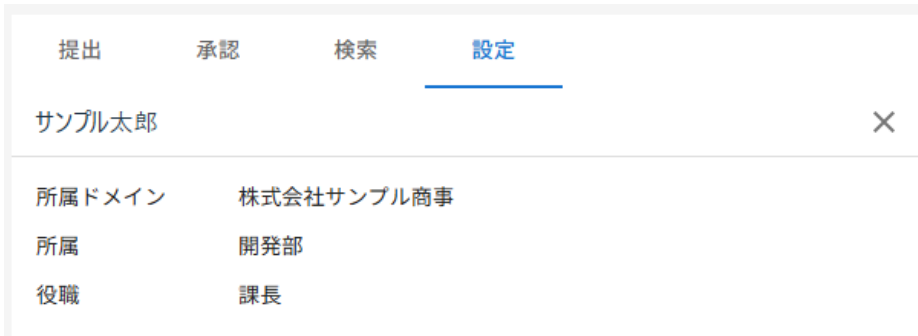
日付	行き先	用途	標準区間	交通機関	区分	金額
			~		特・自	
			~		特・自	
			~		特・自	

2.5.3.4 プラグインの設定

「設定」タブからプラグインの設定の確認、変更を行うことができます。



- プロファイル
ログインしているユーザの所属情報を表示します。



- メニュー設定
初期表示するメニューの変更が可能です。保存ボタンで反映します。

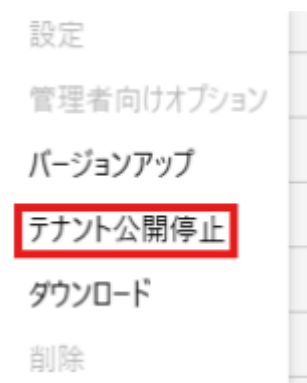


- ログアウト
プラグインからログアウトします。



2.5.4 拡張プラグインの公開停止

拡張プラグインのテナント公開を停止したい場合は、テナント管理者が「管理メニュー/ワークスペース」の「拡張プラグイン」から該当のプラグインを選択して「テナント公開停止」を選択します。



公開停止されたプラグインはタブ内やツール追加画面に表示されなくなり、利用が不可能になります。

2.5.5 拡張プラグインの更新

拡張プラグインがバージョンアップ等で更新された際、バージョンアップ前の既存プラグインとは別に新しくバージョンアップ後のプラグインを配置する必要があります。

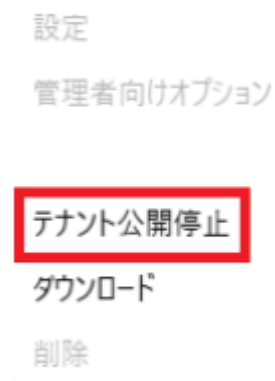
プラグインは、「管理メニュー」内「ワークスペース」の「拡張プラグイン」で確認ができます。

拡張プラグイン						
ツール名	ID	開発元	状態			
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	すべて	▼	検索	
ツール名	ID	バ...	作成日時	説明	開発元	状態
X-point widget for FUJIFILM IWpro	ST18FEC6D69E2_09fbee4-8d84-4...	1	2025/03/12 ...	本プラグインではご利用のX-poin...		テナン

プラグインの更新を行うには、旧バージョンのプラグインの公開設定を「非公開」にし、新バージョンのプラグインの公開設定を「公開」にする必要があります。

まず、旧バージョンのプラグインを選択し、「テナント公開停止」を行い、プラグインを「非公開」にします。

※非公開にしたプラグインは利用することができなくなります。（削除しない限り再び公開することは可能です）



その後、新バージョンのプラグインを選択して、初期設定及び、テナント公開作業を行います。

初期設定の詳細、テナント公開方法については「[2.5.2.拡張プラグインの初期設定・公開](#)」を参照してください。

2.6 利用における注意事項

FUJIFILM IWpro の利用にあたり以下の注意事項をご確認ください。

- FUJIFILM IWpro との連携状態について
FUJIFILM IWpro の連携は、連携設定時に使用した FUJIFILM IWpro ユーザのパスワード変更などを契機に、意図しないタイミングで解除される可能性があります。

連携が解除された状態では文書同期がご利用になれませんので、
その場合は再度『[2.4.2 連携設定](#)』の手順に従って連携を行ってください。

- ワークスペース連携で自動作成されたフォルダの削除について
ワークスペースへのファイル連携で作成されたフォルダは、FUJIFILM IWpro 側で手動削除しないでください。
手動で削除すると、フォルダ構成の管理情報が不整合となり、削除したフォルダ配下への連携に支障が生じる場合があります。
※本注意はワークスペース連携に関するものであり、文書管理連携には該当しません。
- FUJIFILM IWpro では、タイムスタンプオプションを導入しているテナントの場合、
原本性の担保を有効にしているドロワーには PDF ファイルのみ配置可能という制限があります。
このほかファイルを配置できないケースが存在しうするため、これらの制限事項に注意しながらご利用ください。
詳細は FUJIFILM IWpro のマニュアル等を参照するか、貴社の FUJIFILM IWpro 管理者にお問い合わせください。
- 連携エラーになった場合、その書類は FUJIFILM IWpro に連携できていない状態になります。
この状態から書類を FUJIFILM IWpro 側に連携する方法はありません。

■ 改訂履歴

改版	改版内容
2025年3月31日版	初版リリース
2025年6月30日版	2.4.2 連携設定 ・フォルダ構成の設定方法について変更点を反映 ・属性テンプレートに対する説明を追加 2.6 利用における注意事項 FUJIFILM IWpro の制限事項に関する説明を追加
2025年9月30日版	はじめに 対応する X-point バージョンの変更 2 FUJIFILM IWpro の利用 用語の説明を変更 2.2.3 FUJIFILM IWpro 文書管理連携画面 認証連携についての説明を追加 ワークスペースについての説明を追加 2.4.1 FUJIFILM IWpro との認証 管理権限を有したユーザでログインする旨を追記 連携解除についての説明を追加 属性テンプレートの利用可能型の拡張 ワークスペース連携での Webhook 設定について追記 2.4.3 X-point 書類の提出 複数の添付ファイルがある場合の仕様を明記 2.6 利用における注意事項 連携エラーになった場合の挙動を明記 その他、誤字脱字の修正や画像の差し替え
2025年12月16日版	はじめに 本書の目的の説明を明確化 2.1 前提条件 ブラウザ環境に動作環境ページへのリンクを追加 2.2.1 管理者サインイン ライセンスに関する説明を改善 2.2.3 FUJIFILM IWpro 文書管理連携画面 アップロード項目の並び順を実際の画面と一致させるよう修正 2.3.1 X-point 認証トークンの生成 API トークンのアクセス権に関する説明を追加 2.4.1 FUJIFILM IWpro との認証 連携ボタンの説明順序を改善 2.4.2 連携設定 トークンコードの説明に関して誤った語句を修正 削除ボタンの表現を更新 エラーメール通知設定の説明を改善 キャビネット・ドロワーの説明を修正 権限設定の説明を明確化（「アップロード設定」の明記） 文書配置の説明を改善 承認経路連携に関する説明を追加 2.4.3 X-point 書類の提出 文書配置先フォルダの説明を明確化 2.5.1 拡張プラグインの導入 利用手続きの説明を補足 2.5.2 拡張プラグインの初期設定・公開 入力情報の説明を追加 2.5.3.2 書類検索

	<p>検索結果の書類操作に関する説明を修正</p> <p>2.6 利用における注意事項</p> <p>連携状態の説明を明確化</p> <p>問い合わせ先を具体的に記載</p> <p>その他</p> <p>用語や表現の統一、誤字脱字の修正</p>
2026年3月26日版	<p>2.2.3 FUJIFILM IWpro 文書管理連携画面</p> <p>一括連携タブに関する説明を追加</p> <p>2.4.3 一括連携</p> <p>一括連携機能の追加</p> <p>CSVファイルを用いた過去の書類の一括連携に関する説明を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSVアップロード機能 ・実行時間設定機能（スケジュール設定・単発実行設定） ・連携ステータスの確認 ・処理状況一覧と絞り込み機能
2026年6月4日版	<p>2.6 利用における注意事項</p> <p>ワークスペース連携で自動作成されたフォルダの手動削除に関する注意事項を追加</p>